

## 平成 28 年度 第 3 回 潮来市地域公共交通活性化協議会 議事録

会議の名称	平成 28 年度 第 3 回 潮来市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成 28 年 10 月 11 日（火） 14:30～16:00
開催場所	潮来市立中央公民館 3 F 研修室
出席者	澤畠委員、鬼澤委員、長津委員、廣瀬委員、小峰委員、武藤委員、飯塚委員、 塙委員、池田委員、柏谷委員、塚本委員、高塚委員（代理：藤岡委員）、山野委員、 今泉委員、岡本委員、庄司委員、柿崎委員、岩本委員、寺田委員、 大久保委員（代理：阿部委員）、大堀委員（代理：増田委員）  （委員数：21 名）  事務局：潮来市総務部秘書政策課 塙課長、崎岡課長補佐、茂木係長、澤口主幹
欠席者	勝家委員  （委員数：1 名）
会議次第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 協議事項 （1）潮来市地域公共交通網形成計画策定のためのアンケート調査等の結果について （2）課題等の整理について （3）生活交通確保維持改善計画の変更について （4）広域連携路線の実証試験に関する現状等について 4. その他 5. 閉会
会議における主な決定事項	協議事項（1） ・資料 1 の内容を基本とし、今後事務局にて適宜追加調査検討を実施することで承認された。 協議事項（2） ・資料 2 の内容を基本とし、指摘のあった追加検討事項等について事務局にて検討を進めることで承認された。 協議事項（3） ・資料 3 のとおり承認された。 協議事項（4） ・資料 4 のとおり承認された。
議事の経過及び発言の要旨	別紙のとおり

## 【別紙】議事の経過及び発言の要旨

潮来市地域公共交通活性化協議会 埴 事務局長が司会を務めた。

### 1. 開会

14:30に開会した。

関鉄グリーンバス株式会社代表取締役社長の交代に伴い、今回会議から新たに委員となった長津委員に対し、委嘱状の交付が行われた。

### 2. 会長挨拶

公私ともお忙しい中、潮来市地域公共交通活性化協議会平成28年度第3回会議にご出席いただき、感謝申し上げます。本日の議題は、3市で運行しております「広域連携路線バス」の実証試験が5月21日の開始からまもなく5か月が経過することも踏まえまして、その経過等のご報告がございます。また、「潮来市地域公共交通網形成計画」の策定につきましては、当初の予定通り順調に進んでいる状況でございます。本日の会議ではアンケート調査等の結果のご報告、基本理念及び基本方針等のご協議が主な内容となっております。

委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただければと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 4. 協議事項

本協議会規約第7条第2項の規定により、副会長である今泉委員が議長を務めた。

#### (1) 潮来市地域公共交通網形成計画策定のためのアンケート調査等の結果について

・事務局より資料1について説明後、以下の質疑応答があった。

委員：上位関連計画を見ると、潮来市は茨城空港との連携の強化を掲げているが、今回のアンケート調査では茨城空港に関連する設問等はないのか。また、市民ニーズ調査の回答者の世帯構成はどのような分布になっているのか。

事務局：広域的な調査も重要だが、今回は特に市内に目を向けた調査を実施したため、茨城空港に焦点を当てた設問等は設けていない。市民ニーズ調査における回答者の世帯構成は、一人暮らしが7.9%、配偶者のみが25.6%、親と子の世帯などその他の世帯が64.6%となっている。総回答者数は749人である。

委員：外出に関する流動実態は、アンケート調査の集計結果だと思うが、回答者の年代等に偏りがあった可能性もあるので、次回の調査ではもっと細かくブロック分けした方が良いのではないかと。また、P1の人口の推移については、2015年の人口も推計値となっているが、国勢調査の速報値等により最新値を記載した方が良いと考える。

事務局：外出に関する流動は、アンケート調査の回答をもとに、各地区の人口規模、抽出率等を用いて、結果を想定したものである。ただし、ご指摘の通り回答した年代等による偏り等があるかもしれないので、さらに細かいブロック分け等を検討したい。また、人口については、最新データに更新する。

委員：広域連携路線バスの現在の利用状況は。

事務局：運行を開始した5月21日から9月30日までの平均乗車人数は1.6人/便であり利用率が伸び悩んでいる状況である。現在、利用促進策として行方市及び鹿嶋市と運行ダイヤの見直しや割引制度の導入等を検討している。これらも含め、引き続き利用促進を図っていきたい。

委員：アンケート結果等で回答が多かった事項だけに対応しても、必ずしも利用者の増加に繋がるとは限らないので、バスを多く利用すると考えられる高齢者や学生の声に注視して欲しい。

・以上の質疑応答後、資料1の内容を基本とし、今後事務局にて適宜追加調査検討を実施することで承認された。

## (2) 課題等の整理について

・事務局より資料2について説明後、以下の質疑応答があった。

委員：基本理念の短期的視点の中で「マイカー利用志向の高い人」は公共交通利用のターゲットにはしないというような文言があるが、どのように解釈すればよいのか。

事務局：短期的視点の位置付けとしては、例えば最初から現在の高速バスの発着便数のような高水準のサービスレベルを目指すのではなく、まずできる所から整備していくという意味である。施策の第一段階として、日常的に自動車を自由に利用できて何の不便も感じていない人を対象とするのではなく、まずは自動車を自由に利用することができず公共交通を必要としている人を対象にしていくという意味で記載している。

委員：基本理念の中に記載されている「まちづくりと連携し・・・」という部分の具体的なイメージが見えてこないのが、キーワードとして市役所や買物先など、市民の拠点となっているような施設や拠点間の連携方法等もからめて記載した方がよいのではないかと。また、スクールバスに代わる公共交通等を運行した場合、学生側に利用する意向はあるのかということや学校側はスクールバスを今後も続けていきたいと考えているのかどうかについて学校側にヒアリング調査等を実施してはどうか。

事務局：資料1のP40に記載しているグループインタビューにおいて、子育て世代より「路線バスが運行されることによって、新たな人の流れができて駅周辺の活性化等にも繋がるのではないかと」という意見や、「スクールバスは、自宅と学校の往復だけになってしまい、地域の方と触れ合う機会がなくなっているのではないかと」という意見があった。そうした意見も踏まえ、新たな公共交通の整備によって駅周辺の人々の往来が増え、まちの活性化に繋がるのではないかと考えている部分もある。また、水郷潮来バスターミナルをハブ化することによって、潮来市内だけでなく近隣の市町村も含めた地域全体の活性化につながるのではないかと考えている。潮来市内には、鉄道駅とバスターミナルという複数の交通ターミナルがあり、これらをどう使い分けて、まちづくりに寄与させていくかという点が今後の大きなテーマだと思っている。スクールバスに関しては、ご指摘の通り、公共交通との棲み分けをどうしていくか等について、今

後、ヒアリング調査等を実施していきたい。

事務局：ご指摘の通り、「まちづくり」に関する詳しい説明をつけていないので都市計画マスタープラン等で潮来市の目指している都市構造等がどのようなものかが分かるような資料を示すようにする。また、高校のスクールバスについては、運行便数等の基礎的な事項は把握しているので、今後の検討材料にしていきたい。

・以上の質疑応答後、資料2の内容を基本とし、指摘のあった追加検討事項等について事務局にて検討を進めることで承認された。

(3) 生活交通確保維持改善計画の変更について

・事務局より資料3について説明後、異議なしの声により承認された。

(4) 広域連携路線の実証試験に関する現状等について

・事務局より資料4について説明後、以下の質疑応答があった。

委員：広域連携バス利用者の利用実態はどうなっているのか。バス路線の利用のされ方は乗降人数だけではわからないので、バス停間OD調査等も実施した方がよいのではないかと。潮来周辺、鹿嶋周辺等の移動にのみ利用されているような場合、3市を結ぶ長距離の路線は必要なかったとなってしまうので、3市を結んでいる利便性等についてもっとアピールしていくべきである。

事務局：現在は、水郷潮来バスターミナル、鉄道駅、レイクエコーでの乗降が多く、その他のバス停は現状目立った推移がない。ご指摘の点については、今後、調査・検討していきたい。

・以上の質疑応答後、資料4のとおり承認された。

・協議事項がすべて終了したため議長が解任され、以降、事務局長が司会を務めた。

5. その他

・事務局より、次回会議（第4回会議）を平成28年11月11日、第5回会議を平成28年12月22日に予定している旨連絡があった。

6. 閉会

16:00に閉会した。